

中生熟期で、早植・晩植とも「コシヒカリ」並に食味の良い水稻新品種

さとじまん

New Rice Cultivar “Satojiman” with High Eating Quality

作物研究所は、暖地で中生熟期の極良食味水稻として、水稻新品種「さとじまん」を育成しました。「さとじまん」は平成17年度より神奈川県で奨励品種に採用されました。

水稻の収穫作業の競合を避けるため、「コシヒカリ」と収穫時期が異なる極良食味品種や麦跡の晩植栽培に適した優良品種が必要とされています。

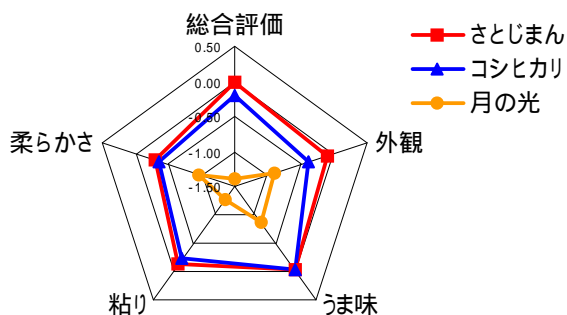


「さとじまん」の草姿（平成16年）

「さとじまん」の主要特性

早植・晩植栽培とも「コシヒカリ」並に美味しい品種です。
早植・晩植栽培とも多収です。
温暖地での熟期は「コシヒカリ」より遅い中生の中です。
稲麦二毛作地帯で問題となる縞葉枯病に抵抗性です。

晩植しても美味しいお米



「さとじまん」は晩植栽培でも早植の「コシヒカリ」と同じくらい美味しいお米です。



さとじまん 朝の光 月の光
「さとじまん」の玄米（平成16年）

「さとじまん」は晩植でも多収です

品種名	早植栽培(5月中旬)		晩植栽培(6月下旬)	
	出穂期 (月日)	玄米収量 (kg/a)	出穂期 (月日)	玄米収量 (kg/a)
さとじまん	8.11	58.3	8.26	53.9
月の光	8.12	54.7	8.29	51.0
コシヒカリ	-	-	8.23	47.7

（早植は平成11年～16年度平均。晩植は13～16年平均）

作物研究所 低コスト稲育種研究チーム

問い合わせ先: 企画管理室 tel: 029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp <http://nics.naro.affrc.go.jp/>